**事前課題１ 　令和６年度　更新研修　自己紹介シート**

更新研修の２日間の演習は、事前課題をもとにグループディスカッションを行いますので、しっかりと記入をして研修に参加してください。

各グループでの自己紹介の際に使用します。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名（ふりがな） |  |
| 受講番号 |  |
| 現在の市町村／出身地 | 現在の市町村  出身地 |

|  |  |
| --- | --- |
| 趣味やマイブーム |  |
| 最近の関心事  （福祉に関わらず） |  |

現在組織に所属している方は以下の項目の記入をお願いします。

|  |  |
| --- | --- |
| 所属する組織の概要  （理念や規模や組織の取り組む事業等を記入してください） |  |
| 所属する事業所のサービス（支援）の種類 |  |
| 事業所名 |  |
| 現在の職種 |  |

**事前課題２ 　サービス（支援）提供事業所としての自己検証（振り返りシート）**

以下の事項について、「現任者」は現時点から一年程度を振り返り、「非現任者」は過去にサビ児管に従事していた際に事業所で取り組んだことを、「サビ児管の経験のない方」は、管理者や相談支援専門員として取り組んだことを自身がサビ児管になったと仮定して自己評価してください。

|  |
| --- |
| 1. 組織体制の取組みの良いところ   （所属する（していた）事業所内のみに留まらず、事業所等を運営する法人や企業として取り組ん  でいることなども含めて記載してよい。） |
|  |
| ２．コミュニケーション・チームワークの取組みの良いところ |
|  |
| ３．人材育成の取組みの良いところ |
|  |
| ４．地域との関わり・ネットワークの取組みの良いところ |
|  |

**事前課題３ 　サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者振り返りシート**

**（自己検証用）**

以下の事項について、「現任者」は現時点から一年程度を振り返り、「非現任者」は過去にサビ児管に従事していた際に事業所で取り組んだことを、「サビ児管の経験のない方」は、管理者や相談支援専門員として取り組んだことを自身がサビ児管になったと仮定して自己評価してください。

（各設問の選択肢から該当すると思う□欄に**✔**し、その理由等を枠の中に記載してください。）

※この振り返りシートは、すべてに満点を求めているものではありません。客観的な視点で自身の業務について評価してください。またその理由と要因も記載してください。

**１．個別支援計画の作成について**

(1) 個別支援計画の作成について

① 個別支援計画の作成は、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者にとって重要な業務です。

あなたが担当した利用児・者に対して、十分な個別支援計画の作成ができていますか。

【回答】質の高いものが

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等）

|  |
| --- |
|  |

(2) モニタリングについて

① サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者は計画を作成することも重要ですが、モニタリング 　による利用児・者や環境の変化に対応したサービス（支援）提供や向上に反映することが重要です。

そのための定期的なモニタリング（６ヶ月に１回以上）が十分に行われていますか？

【回答】質の高いものが

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等）

|  |
| --- |
|  |

(3) 利用者への説明と同意、書面計画書の交付について

事前課題３

① 利用児・者を中心とした質の高いサービス（支援）を提供するため、計画の作成時やモニタリング機会などを通じ、丁寧な説明と理解を得る必要があります。形骸化せず実施されているでしょうか？

【回答】質の高いものが

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等）

|  |
| --- |
|  |

**２．記録について**

① 他者への説明責任や事故・トラブル等を未然に防ぐため、日々の記録はとても重要です。日常的な支援の記録や家族との連絡など、業務日誌や個人記録等を整備し、記録されていますか？

【回答】質の高いものが

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等）

|  |
| --- |
|  |

**３．会議について**

① 職員間の連携や事業所全体で検討が必要な事項については、定期的な会議が必要となります。

定期的に職員会議やサービス（支援）の向上・改善のための会議が行われていますか？

【回答】質の高いものが

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

②自己評価の理由（要因・取組内容等）

|  |
| --- |
|  |

**４．サービス提供職員に対する技術指導及び助言について**

(1) 日常業務での助言・指導について

事前課題３

① 人材育成の視点を常に持ち、現場でサービス提供を行う職員に対して指導・助言を行うことはサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の重要な責務と言われています。あなたは適時行えていますか？

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等）

|  |
| --- |
|  |

(2) 上記の業務を組織として行える体制整備について

① 人材育成はサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者だけで行えるものではありません。組織全体で体制を作り進めていくことで、より成果を上げ将来への大事な備えになります。日常業務での助言・指導について、組織として行える体制の整備はできていますか？

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等）

|  |
| --- |
|  |

**５．苦情解決について**

① 利用者（子どもやその家族も含む）から要望や苦情が出ることはマイナスな事柄と限定的に判断せず、サービス（支援）向上のためのきっかけや気づきをいただけたとの前向きな姿勢で受け止めることが大切です。日頃から発出された要望や苦情に耳を傾け、適切な処理や対応ができていますか？

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等内容等）

事前課題３

|  |
| --- |
|  |

③ 過去1年間で約何件の苦情が寄せられましたか？

|  |  |
| --- | --- |
| 約　　　件 |  |

**６．虐待防止について**

① サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者は日頃より業務全体を把握し、虐待の芽を摘むような役割が強く求められます。日頃から職員の業務に注意深く目を向け、いわゆる不適切な言動などに注意し、発見した虐待の芽を早期に摘むような行動ができていますか？

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

② 自己評価の理由（要因・取組内容等内容等）

|  |
| --- |
|  |

③ 過去1年間で虐待もしくは虐待が疑われる事案はありましたか？　あった場合は約何件でしたか？

【回答】虐待もしくは疑われる事案は　　　　あった、　なかった

※「あった」を選んだ場合は、その件数を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 約　　　件 |  |

**７．機密の保持について**

①利用児・者から得られる情報は支援に有効に活用されるべく収集されるものです。利用者(児童期は保護者)の許可なく安易に他者への提供を行ったり、外部へ漏洩しない慎重な対応が必要となります。個人情報の管理についてのルールが作られ、職員全員が認識し、適正な扱いが行われていますか？

【回答】

事前課題３

できている、　おおむねできている、　ほとんどできていない、　できていない

②自己評価の理由（要因・取組内容等内容等）

|  |
| --- |
|  |

**事前課題４ 　サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者振り返りシート**

**（連携用）**

以下の事項について、「現任者」は現時点から一年程度を振り返り、「非現任者」は過去にサビ児管に従事していた際に事業所で取り組んだことを、「サビ児管の経験のない方」は、過去に管理者や相談支援専門員として取り組んだことを自身がサビ児管になったと仮定して自己評価してください。

各設問の選択肢から該当すると思う□欄に**✔**し、その理由を枠の中に記載してください。

※この振り返りシートは、すべてに満点を求めているものではありません。客観的な視点で自身の業務について評価してください。また、その理由と要因も記載してください。

**１．関係機関（企業・学校・医療機関・他の福祉事業所等）との連携**

➀ 利用児・者の生活は福祉サービスだけで構成されているわけではありません。そのため、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者は必要に応じ関係機関との連携が重要な業務となります。日頃から、関係機関との連携を意識して業務を行えていますか。

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

➁ 自己評価の理由（要因・実践内容等）

|  |
| --- |
|  |

➂ 連携が効果的であった事例を経験していれば教えてください。※ない場合は、その旨を記入。

|  |
| --- |
|  |

**２．相談支援専門員との連携**

➀ 利用児・者の希望する生活を実現していくためには、連携する関係者の中で、相談支援専門員との連携は特に重要と言われています。相談支援専門員との連携はできているでしょうか？

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

➁ 自己評価の理由（要因・実践内容等）

事前課題４

|  |
| --- |
|  |

➂ 連携が効果的であった事例を経験していれば教えてください。※ない場合は、その旨を記入。

|  |
| --- |
|  |

**３．担当者会議の開催について**

➀ 様々な機関や担当者との具体的な連携の場として、担当者会議が想定されています。利用児・者の状態や環境の変化等に応じてサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者自らが、または他機関が開催する担当者会議が実施され、参加されていますか？

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

➁ 自己評価の理由（要因・実践内容等）

|  |
| --- |
|  |

➂ 担当者会議が効果的であった事例を経験していれば教えてください。※ない場合は、その旨を記入。

|  |
| --- |
|  |

**４．自立支援協議会への参加について**

事前課題４

➀ 地域の様々な関係者による連携や体制強化のための場として、各自治体（圏域）に設置されている（自立支援）協議会の審議内容を把握していますか。

【回答】

できている　　おおむねできている　　ほとんどできていない　　できていない

➁ 参加したことがある方はどのような協議会または、協議会主催の研修や連絡会に参加しましたか？　　※ない場合は、その旨を記入

|  |
| --- |
|  |

➂ あなたの地域の自立支援協議会にどのような部会があるのか、また、その審議内容について、可能な範囲で調べ、記入してください。

|  |
| --- |
|  |

④ 地域には、どんな課題がありますか？（※地域課題と地域から見た自事業所の課題等を記入）

|  |
| --- |
|  |

**事前課題５－１ 　サービス管理責任者・児童発達支援管理者振り返りシート**

各設問の選択肢から、該当すると思う□欄に✔し、その理由を枠の中に記載してください。

選択肢がない設問については、枠の中に回答を記載してください。

**１．【２日目】グループスーパービジョン（ＧＳＶ）・個別スーパービジョン（個別ＳＶ）について**

令和６年度から、サービス管理責任者等更新研修内で「**サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習**」を行います。あなたはＳＶ（スーパービジョン）について知っていますか？

【回答】

知っている　　おおむね知っている　　ほとんど知らない　　知らない

**２．【２日目】グループスーパービジョン（ＧＳＶ）について**

〇グループスーパービジョン（ＧＳＶ）とは

　➡**事例に対する悩みをまとめ、事例提供者に新たな視点や考え方、支援方法等を提供する手法。**

あなたの所属している事業所内で、利用者に対する困難ケースや環境課題についてケースカンファレンス等を行っていると思いますが、課題解決に向けてどのような取組みを行っていますか？

【回答】取組内容（ケース会議・グループ会議・職員会議・担当者内でのケース検討等）

|  |
| --- |
|  |

**３．【２日目】個別スーパービジョン（個別ＳＶ）について**

〇 個別スーパービジョンとは

**➡職員の個別課題を共有し、解決にむけて職員自身が歩き出すことを支援する手法。**

① サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者として、これまで事業所内の職員に対して面談を行ったり、悩みの相談を受けたことはありますか？「ある」方は、相手の思いに寄り添うことができましたか？（ 面談・相談を行ったことが「ない」方は、③の設問に進んでください。）

【回答】寄り添うことが

できた　　おおむねできた　　ほとんどできなかった　　できなかった

② 自己評価の理由（要因・取り組み内容等）

|  |
| --- |
|  |

③面談・相談を行ったことが「ない」方は、理由を記入してください。

|  |
| --- |
| **「職員への面談・相談は事業所管理者等が行っている」**という方は□欄に✔をしてください。 |

**事前課題５－２ 　スーパービジョンの振り返りシート**

1. ご自身がスーパーバイジーだったときの経験についてご記入ください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **良かった経験** | **良くなかった経験** |
| **スーパーバイザーは誰？どんな人？** |  |  |
| **どんな場面でスーパーバイズを受けた？** |  |  |
| **どんな関わり方だった？** |  |  |
| **そのときのご自身の気持ちは？** |  |  |

２、ご自身がスーパーバイザーだったときの経験についてご記入ください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **効果的なスーパーバイズができた経験** | **スーパーバイズがうまくいかなかった経験** |
| **スーパーバイジーは誰？どんな人？** |  |  |
| **どんな場面でスーパーバイズをおこなった？** |  |  |
| **どんな関わりをした？** |  |  |
| **スーパーバイジーの変化は？** |  |  |

※スーパーバイザーとは、「管理者・指導者」という意味です。

※スーパーバイジーとは、「指導・助言を受ける人」という意味です。

**事前課題６**グループスーパービジョン用事例

　グループスーパービジョンのグループワークにて、現在貴方が所属している事業所の実際の事例を基に演習を行います。利用者支援において上手く支援できていないことや支援の効果が上がらず悩んでいることについて下記の用紙に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 今回検討したいこと | | |
| 【事例概要（年代、性別、診断名、病歴、成育歴、家族歴等）】 | | |
| 【サービス導入の経緯】 | | |
| 【本人の支援ニーズと本サービスにおける支援目標】 | | |
| 【サービス導入から現在までの支援内容とその結果及びアセスメント】 | | |
| ストレングス | 性格・人柄/個人的特性 | 才能・素質 |
|  |  |
| 環境 | 興味・関心/向上心 |
|  |  |

|  |
| --- |
| 事例提出者氏名： |

※記載する際は個人が特定されることがないよう、名前をアルファベットで表記する等の配慮をお願いします。

※事例については、他関係機関と連携して対応するような困難ケースではなく、あくまで事業所内で対応可能なケースをご記入ください。